

えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

いじめ撲滅の取組に、広がり！

○豊かな心を育むこと

「豊かな心を育む必要がある。」とは言うものの、その育成は簡単なことではありません。

近年は、少子化、核家族化、そして、社会が豊かで何一つ不自由しない世の中であって、自分が耐える、相手の気持ちを考えて相手のことを思いやり自ら考えて行動することなどが育みづらい状況にあります。



えりも中とえりも高の生徒会の皆さんが宣言文を読み上げました。

特に学校においては、学校週五日制の中で教科などの学習時間を保障しながら、限られた時間の中で体験活動が仕組まれています。

また、地域や家庭においても、子どもたちへの活動が仕組まれています。まだ十分とはいえない状況にあります。

したがって、豊かな心を育むための現状の取組を、学校、家庭、地域が一層、充実していくことが強く求められます。

このような中で、9月29日（火）に、えりも中学校やえりも高校で行われたいじめ撲滅にかかわる取組が、学校だけ、生徒だけではなく、関係機関や地域の方々が参画した取組として発展したことは、極めて意義深いことであります。

当日は、えりも中学校とえりも高校の生徒会がいじめ撲滅を目指して、宣言文を読み上げるとともに、えりも町人権擁護委員の山科さん、大高さん、神田さんが壇上に上がり生徒会の取組を称賛し、一人一人が互いの心を尊重して助け励まし合うことの大切さなどを語っていただきました。



えりも町人権擁護委員の皆さんが呼びかけるなど、地域の協力は最高の学校への贈り物です。

さらに、54年生まれのえりも中学校卒業生の皆さん（代表 谷家優輔さん）が「ピンクTシャツ運動」としてTシャツを贈呈されるなど、まさしく地域ぐるみでいじめに取り組み姿が現れてきました。今後、町民一丸となった運動となるよう一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



54年生まれの代表 谷家優輔さんから、Tシャツを受け取る生徒会長 北村奏美さん



全員がピンクTシャツを着て「いじめ撲滅」の誓いを確かめ合いました。

○学習環境の整備

教室や家庭での学習ルームは、基礎学力を身に付ける上で、学習に取り組む基盤となる大切な部分の一つです。



各学校では、教室環境の整理・整頓（各自のファイルを整える等）を行うなどして、学ぶ環境づくりに気を付けています。（えりも中の教室にて）



しっかりした姿勢で先生の話聞く（立腰の姿勢） 笛舞小の子。机の天板も広くなり机上の整理・整頓が今までよりもできますね。

○長期休業中の取組

中学校や高校では、部活動前などに自主学習の時間を計画し、生徒自らが自身の将来を考えて、その土台となる基礎学力を身に付けようと頑張っています。

えりも中学校では、夏休み中、部活動前の1時間、一学期に学んだ内容を復習したり、さらに力を付けようと自主学習に取り組んでいます。（えりも中野球部の諸君）



えりも高校では、夏休み中、教科別に時間を計画するなど、普段と同じように教室での自主的な学習が先生方の協力で進められています。（えりも高1・2年生の諸君）

○教え合いの学び

学習は、自らが取り組むことが何よりも大切です。あわせて、互いに考えを交流し、よりよい考え方を確かめ合って深めていくことも大切です。そのため、先生方が話し合いを

行い、授業の進め方などについて熱心に検討し進められています。

先生方も授業を参観して意見を出し合い、よりよい指導を検討しています。（えりも中の先生方）



互いの考えを交流している場面です。学習に真剣に参加している姿が伝わってきます。（えりも中にて）

○学習規律について、家庭のご協力を

これまで紹介している「学習規律の様子」や「徹底」は、ご承知のとおり、小学校に入学以前から、学習時の姿勢に限らず、食事時の姿勢など正しい姿勢で臨むことは、生活マナーや学習にしっかり取り組むために育てなければならない大切なことです。

各学校においては、指導の徹底を図り成果も出てきているところですが、各家庭、地域においても、様々な機会を捉えて進めていくことが求められます。

今後、学校教育のみならず、家庭教育においても、生活態度や学習態度について意識して教育てるよう、学校と家庭、地域が連携して取り組む一つとして、ぜひとも、ご支援とご協力をお願いいたします。